



優しい風の吹く街



宝塚市「消防出初式」 1月13日

2019年4月の宝塚市議会議員選挙において5期目の当選を果たすことができました。多くの方からいただいたご支援をしっかりと受けとめ、一生懸命がんばります。

さて、昨年5月に政治分野における男女共同参画推進法が国会で成立しました。そして、先般の宝塚市議会議員選挙では女性議員が10名誕生しました。これは過去最多です。これを大きな力として、ジェンダー平等で多様な人々が尊重される社会の実現をめざし、より一層、子育てと教育環境の整備にも力を注いでいきます。

また、情報公開と議会改革を進め、オープンで活力ある住民自治を創り出します。これからも市政や私の活動へのご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

活動報告 ～抜粋～

2/17

第42回 『駅前議会』記念講演 (宝塚ホテル)

■演題：自治体議会の「今」そして「これから」

■講師：北川正恭さん

(元三重県知事、早稲田大学大学院名誉教授)

地方分権時代の自治体議会のあり方と課題、首長と議会との二元代表制の関係等がよくわかりました。私たちの「駅前議会」の価値を認めてくださり勇気づけられました。



3月議会 <可決した主な議案>

- 一般会計・特別会計・企業会計の予算
- 文化芸術センター・庭園の指定管理者に「宝塚みらい創造ファクトリー」を指定
- 犯罪被害者支援条例の全部改正（精神的被害からの回復支援など新たに規定）
- 男女共同参画推進条例一部改正（性的マイノリティへの差別禁止、権利擁護推進）

宝塚市議会において、会議規則の改正がおこなわれ、議員の議会欠席理由が、従来からあった「出産」に加え「出産の立ち会い」も認められるようになりました。

6月議会 <文教生活常任委員会>

- 宝塚市立幼稚園の設置管理条例改正
良元、中山五月台幼稚園廃園
- 宝塚市いじめ問題再調査委員会条例の制定
- 豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願
→(採択)→国への意見書提出
- 公立夜間中学校の受け入れ体制の充実を求める請願
→(採択)→兵庫県への意見書提出

「ありのままに 自分らしく生きられるまち 宝塚」の取り組みについて

<北野>

LGBTsの人々の多様性を尊重する取り組みの現状と課題は？

<市長>

2016年度から職員研修、市民向け講習会を継続実施。電話相談開設。2016年6月パートナーシップ宣誓制度開始。宣誓すれば、市営住宅入居者の資格要件に該当。市立病院手術の同意。犯罪被害者支援制度の遺族支援金の対象となる。

2019年3月には男女共同参画推進条例を一部改正し、LGBTsへの差別禁止や相談の受付を明文化。高校や市内業者への啓発が課題。

2次質問

<北野>

お互いの合意に基づくパートナーシップであることの宣誓が行える「新たなパートナーシップ制度」として進化させていけないか？

<総務部長>

先進市の取り組みを研究していく。

北野さと子の意見

パートナーシップ宣誓書のカード化を求める。

<北野>

LGBTsの方々は体や性の悩みを抱える中で医療機関との関わりに困っていることが多い。宝塚市立病院のLGBTsの生命と尊厳を守る支援や取り組みは？

<病院事業管理者>

性的マイノリティについての理解を深め、LGBTs特有の医療上の悩みを知ることで患者一人ひとりを尊重することに繋がると考え院内で研修会を実施した。

<北野>

「自殺予防対策施策」に取り組んでいるか？

<総務部長>

特に本市では、自殺対策計画「人にやさしいまちづくり」の6つの重点施策のひとつとして「性的マイノリティへの支援」の推進を掲げている。

2次質問

<北野>

救急医療に関わる消防職員のLGBTsに関する研修は？

<消防長>

LGBTsに関する研修会には積極的に参加し人権の大切さについて理解を深めている。

<北野>

人権教育としてのLGBTsに関する授業づくりは？

<教育長>

児童生徒向け相談カードを配布。実践モデルを記載した手引書やLGBTsに関する絵本を配布し活用を促した。教職員が子どもの人権を守る意識を高めて、子どもの一番の理解者になることができるように努めている。

北野さと子の意見

「学校には自分に安心できる場所がある！」
「自分にはいざという時に力になってくれる友人や先生がいる！」
そう思えるような、多様性を尊重し誰もが安心できる学校づくりの努力を求める。



教育環境整備について

1、中山桜台小学校・中山五月台小学校 学校統合計画について

<北野>

統合の目的をしっかりと伝えたいので、保護者と子どもたちの声を十分聴く必要があるのではないかと？

<教育長>

不安に思う子どもたちや保護者の声を十分に受け止めて不安を解消する取り組みが必要。アンケート調査の実施や相談窓口の設置により、慎重に進めていく。

<北野>

より良い教育環境にするため市が行うべきことは？

<教育長>

ハード面ソフト面の整備と、小中一貫教育をはじめとする環境整備をすすめる。

<北野>

子どもたちの不安解消に向けた取り組みは？

<教育長>

スクールカウンセラーの配置や2校間の交流事業を推進する。

2次質問

<北野>

統合前後には きめ細かな対応をするための教職員加配等の人的措置をすべきではないかと？

<管理部長>

子ども中心とした取り組みを進める観点から、県への要望や市としての対応も検討していく。

北野さと子の意見

クラス替えや切磋琢磨できる環境を優先すべきとして学校統合の議論が始まったが、少人数教育の良さが失われるのは残念。友達が増えることや、友達の良さを学べるなど、プラスをたくさん見つけていける希望が持てる統合にしなければいけない。また、中山五月台小学校は里山がある宝塚市内で唯一無二の学校である。この素晴らしさは自然の恵みであり、そしてまた里山として整備してくださってきた地域の皆様の力があってこそのものである。貴重な体験学習の場など、継承していくことができる教育の場として活かしていくべきである。

2、新学習指導要領実施について

<北野>

2020年度から、外国語やプログラミング教育が必修化となる。新学習指導要領実施にともない、ICT環境の整備は急務ではないかと？

<教育長>

パソコン教育の機器更新や授業支援システム導入をおこなってきたが、電子黒板やタブレット等は十分な数の整備に至っていない。

2次質問

<北野>

このままでは他市に比べて我が市の子どもたちの教育環境整備が遅れてしまう。そのための教育予算確保についての財政当局の見解は？

<副市長>

各市に比べて遅れている。できるだけ整備が進むよう考えていきたい。

その他

プレハブ校舎解消と猛暑対策の拡充等を求めた。



1/23

阪神市議会議長会 (芦屋)

1年間会長を務めました。



2/2

中央公民館 第2期開館テープカット



2/3

中山寺「星祭節分会」



5月

「市民ネット宝塚」 新メンバーでスタート

北野聡子・川口潤・寺本早苗・田中大志朗



4月の宝塚市議会議員選挙
無事当選できました。

風のこころ

1989年国連総会で採択された「子どもの権利条約」から30年。条約は生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利の4つの権利を守ることを定めている。いまの日本社会において再認識し、いじめや虐待をなくす努力をしていきたい。子どもに最善の利益を!